

**部活動の地域移行に伴う
アンケート調査
結果報告書**

湧別町教育委員会

－ 目 次 －

I. 調査の概要

1. 調査の目的	2
2. 調査の設計	2
3. 回収の結果	2
4. 本報告書の見方	2

II. 調査の結果

1. 部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)アンケート

問1 学年	4
問2 中学校、義務教育学校で部活動に入部したいですか。	4
問3 町内にある部活動で入部したい部活動はありますか。	5
問4 現在ある部活動の他にあったら良いと思う部活動はありますか。	6

2. 部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)の保護者アンケート

問1 お子様は、地域のスポーツ活動、文化・芸術活動に所属していますか。	7
問2 お子様は所属しているスポーツ活動、文化・芸術活動の種目を教えてください。	7
問3 活動にかかる月々の費用はどのくらいですか。	8
問4 お子様が進学した際に、部活動に参加することで何を期待しますか。	8
問5 休日(土・日)の学校部活動の地域移行について賛成ですか。	9
問6 部活動を地域クラブ等へ移行することで、心配することは何ですか。	9-10
部活動の地域移行に関しての課題や問題点、ご意見など	10

3. 部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問1 学年	11
問2 学校の部活動に入部していますか。	11
問3 休日(土・日)に部活動を行いたいですか。	12
問4 部活動に入部していない理由は何ですか。	13
問5 学校部活動にない種目に参加してみたいですか。	14
問6 参加したい理由は何ですか。	15
問7 現在ある部活動の他にあったら良いと思う部活動はありますか。	16
部活動に関してのご意見など	17

4. 部活動の地域移行に関する生徒の保護者アンケート

問1	お子様は、学校部活動に所属していますか。……………	18
問2	お子様が所属している部活動の種目を教えてください。……………	18
問3	部活動にかかる月々の費用はどのくらいですか。……………	18
問4	お子様が部活動に参加することで何を期待しますか。……………	19
問5	休日(土・日)の学校部活動の地域移行について賛成ですか。……………	20
問6	学校部活動から地域へ移行した場合、お子様をスポーツ活動または文化活動に参加させたいですか。……………	20
問7	部活動を地域クラブ等へ移行することで、心配することは何ですか。……………	21
部活動の地域移行に関しての課題や問題点、ご意見など……………		22

5. 部活動の地域移行に関する教職員アンケート

問1	所属する学校を選んでください。……………	23
問2	部活動を担当(顧問)していますか。……………	23
問3	教職員が部活動の指導を行うことについてどう考えるか。……………	24
問4	休日(土・日)の学校部活動の地域移行について賛成ですか。……………	25
問5	部活動を地域クラブ等へ移行することで、何を期待しますか。……………	25-26
問6	学校部活動を地域クラブ等へ移行することで、心配することは何ですか。……………	27-28
問7	学校部活動が地域へ移行した後、地域の指導者として関わりたいですか。……………	28
問8	どのような理由で関わりたいと思いますか。……………	29
問9	どのような理由で関わりたくないと思いますか。……………	30
部活動の地域移行に関しての課題や問題点、ご意見など……………		30

6. 部活動の地域移行に関するスポーツ・文化団体アンケート

問1	学校部活動を地域移行することによって何を期待しますか。……………	31
問2	学校部活動を地域クラブ等へ移行することで、課題となることは何ですか。……………	31
問3	休日(土・日)に中学生へ指導することはできますか。……………	32
問4	指導可能な時間を教えてください。……………	32
問5	指導できる種目等を教えてください。……………	32
問6	指導するにあたっての懸念点等を教えてください。……………	33
部活動の地域移行に関しての課題や問題点、ご意見など……………		33

7. まとめ

1.	児童(小学4～6年生)によるアンケート結果……………	34
2.	児童(小学4～6年生)の保護者によるアンケート結果……………	34
3.	生徒(中学1～3年生)によるアンケート結果……………	34
4.	生徒(中学1～3年生)の保護者によるアンケート結果……………	34
5.	教職員によるアンケート結果……………	35
6.	スポーツ・文化団体によるアンケート結果……………	35
7.	アンケート調査全体を通して……………	35

I .調査の概要

I.調査の概要

1.調査の目的

部活動の地域移行について、児童・生徒、保護者、教職員及びスポーツ・文化団体を対象としたアンケート調査を実施し、現状を把握、分析した上で、今後の検討における参考資料とする。

2.調査の設計

(1)調査対象	①町内小・中・義務教育学校の児童・生徒、保護者及び教職員 ②町内スポーツ・文化団体
(2)調査方法	二次元バーコード(QRコード)から回答フォームにアクセスし回答する。
(3)調査期間	令和6年6月10日～7月19日まで

3.回収の結果

①町内小・中学校・義務教育学校の児童生徒、保護者、教職員

対 象	対象者数	回収数	回収率
児童(小学4～6年生)	160人	69人	43.1%
児童(小学4～6年生)の保護者	143人	24人	16.8%
生徒(中学1～3年生)	132人	116人	87.9%
生徒(中学1～3年生)の保護者	121人	18人	14.9%
小・中・義務教育学校の教職員	112人	45人	40.2%
合 計	668人	272人	40.7%

②町内スポーツ・文化団体

対 象	対象者数	回収数	回収率
スポーツ・文化団体	54団体	19団体	35.1%

4.本報告書の見方について

①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出した。従って合計が100%を上下する場合もある。

②基数となるべき実数は、“回答数=〇〇〇”として掲載する。

Ⅱ.調査の結果

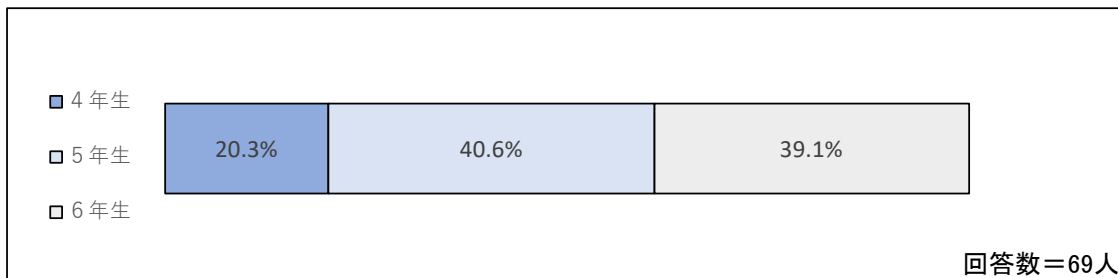
II.調査の結果

1.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)アンケート

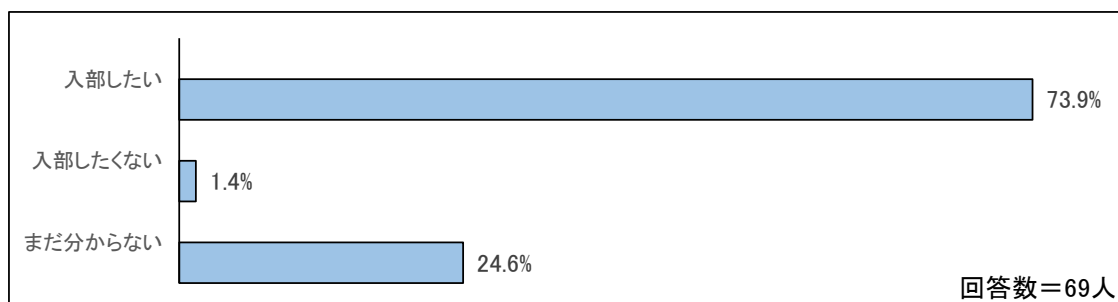
II.調査の結果

1.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)アンケート

問1 学年を選んでください。



問2 中学校、義務教育学校で部活動に入部したいですか。



学年	回答者数	入部したい	入部したくない	まだ分からない
4年生	14	50.0%	0.0%	50.0%
5年生	28	89.3%	3.6%	7.1%
6年生	27	70.4%	0.0%	29.6%
合計	69	73.9%	1.4%	24.6%

◆“入部したい”73.9% “入部したくない”1.4%

中学校、義務教育学校に進学後、部活動に“入部したい”が全体の73.9%を占めており、“入部したくない”が1.4%、“まだ分からない”が24.6%という回答になっています。

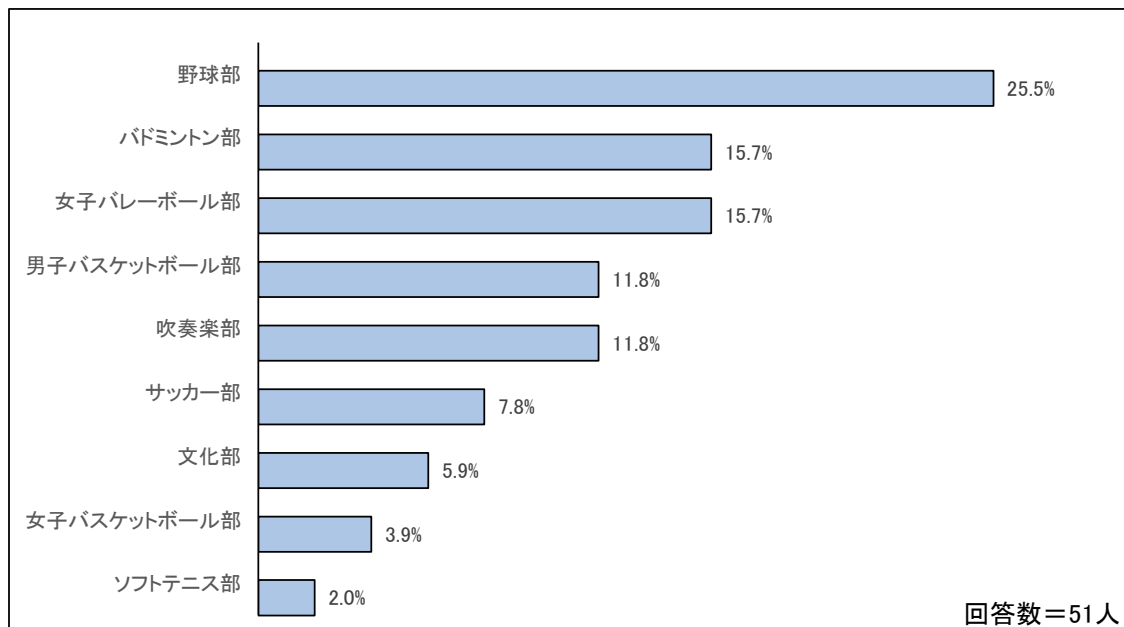
学年別にみると、“入部したい”は、5年生の89.3%が最も多く、次いで6年生の70.4%、4年生の50.0%の割合となっています。その一方で、“まだ分からない”は4年生の50%が最も多く、次いで、6年生の29.6%、5年生の7.1%の割合となっており、学年が上がることで、進学後の部活動についても考える機会が増え、“まだ分からない”の回答が減ってくるかと考えます。

II.調査の結果

1.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)アンケート

問3 町内にある部活動で入部したい部活動はありますか。

※問2で「入部したい」と回答した人



学年	回答者数	野球	バドミントン	女子バレーボール	男子バスケット	吹奏楽	サッカー	文化	女子バスケット	ソフトテニス
4年生	7	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%
5年生	25	28.0%	24.0%	4.0%	8.0%	16.0%	12.0%	0.0%	8.0%	0.0%
6年生	19	21.1%	10.5%	31.6%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
合計	51	25.5%	15.7%	15.7%	11.8%	11.8%	7.8%	5.9%	3.9%	2.0%

◆**“野球”25.5% “バドミントン”、“女子バレーボール”15.7%**

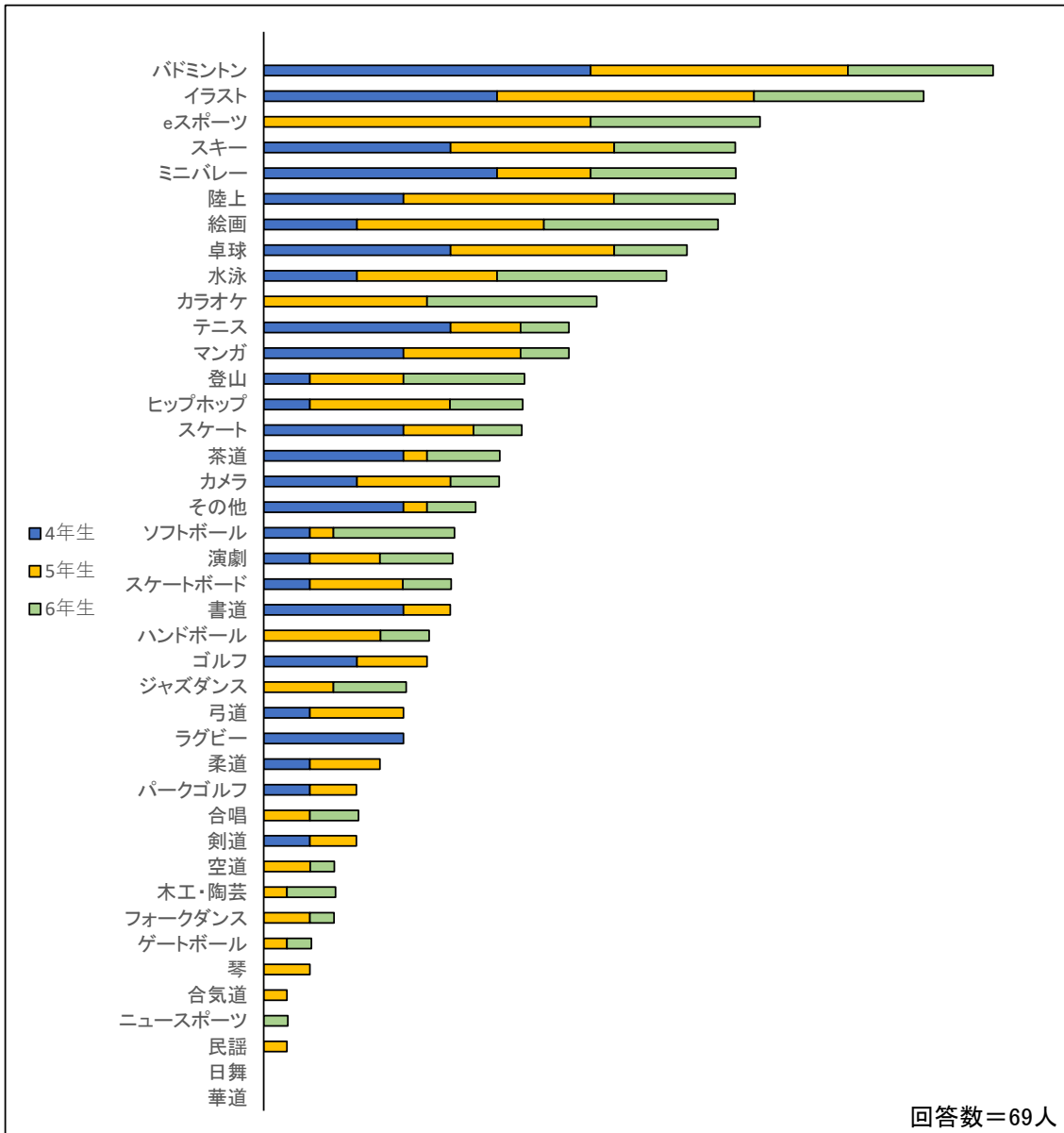
中学校、義務教育学校に進学後、入部したい部活動は“野球部”が25.5%と最も多く、次いで、“バドミントン部”、“女子バレーボール部”が15.7%の割合となっています。
 学年別にみると、4年生から6年生までのほとんどで“野球部”が上位にきている中、“女子バレーボール部”、“バドミントン部”などの運動部も多い割合を占めていますが、4年生では、“文化部”が42.9%と最も多い割合となっています。

II.調査の結果

1.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)アンケート

問4 現在ある部活動の他にあったら良いと思う部活動はありますか。

※複数回答可



◆運動部では“バドミントン” 文化部では“イラスト”が上位

現在の部活動以外にあったら良い部活動は、運動部では“バドミントン”、“スキー”、“ミニバレー”、“陸上”が上位を占めており、文化部では“イラスト”、“絵画”となっています。

その他を選んだ方の記述回答は9件あり、その内容は次のとおりです。

- ・パソコン(1件)
- ・バスケットボール(1件)
- ・サッカー(2件)
- ・バレーボール(2件)
- ・アイスホッケー(3件)

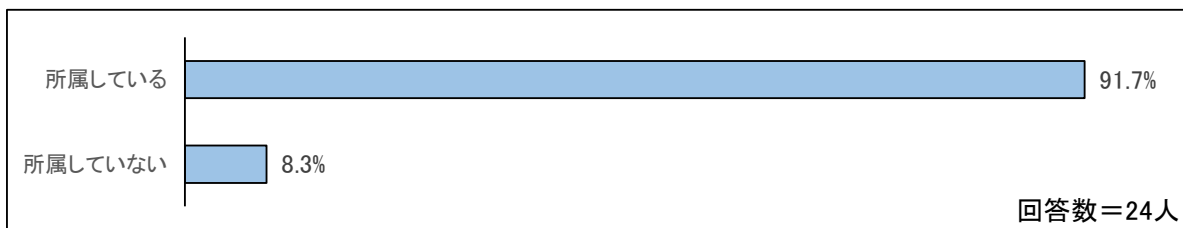
II.調査の結果

2.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)の保護者アンケート

II.調査の概要

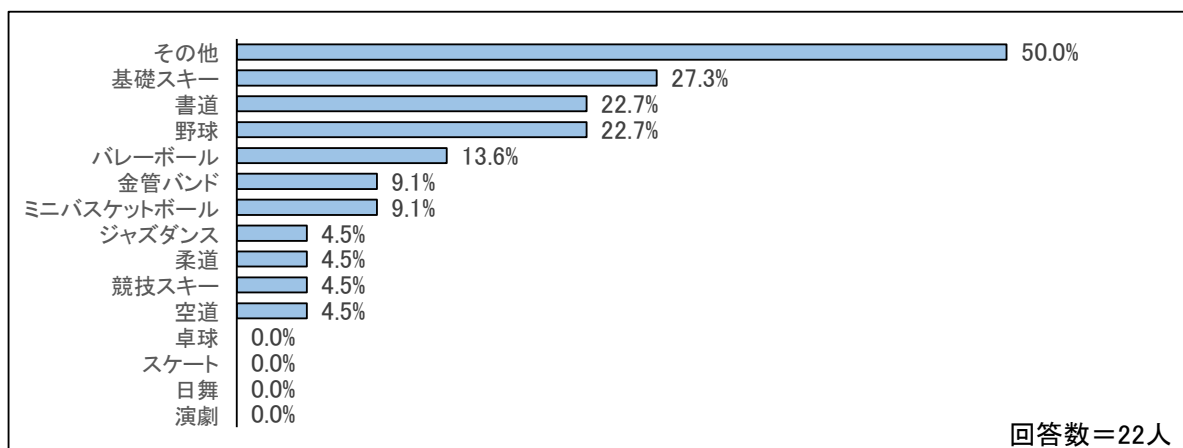
2.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)の保護者アンケート

問1 お子様は、地域のスポーツ活動、文化・芸術活動に所属していますか。



問2 お子様が所属しているスポーツ活動、文化・芸術活動の種目を教えてください。

※問1で「所属している」と回答した人 ※複数回答可



対象者	回答者数	その他	基礎スキー	書道	野球	バレーボール	金管バンド	ミニバス
保護者	22	11	6	5	5	3	2	2
ジャズダンス	1	1	1	0	0	0	0	(人)

その他を選んだ方の記述回答は11件あり、その内容は次のとおりです。

- ・陸上(1件) ・サッカー(1件) ・ピアノ(2件)
- ・ヒップホップ(3件) ・水泳(4件)

◆“基礎スキー”27.3% “書道”、“野球”22.7%

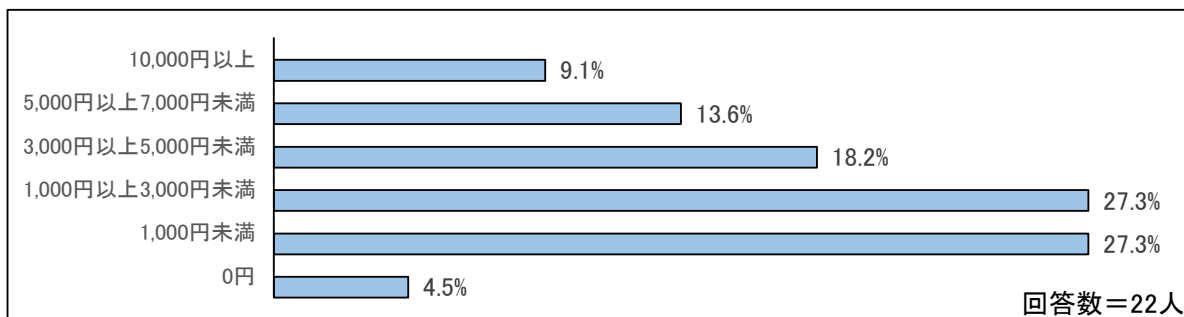
現在、地域のスポーツ、文化・芸術活動に所属している方は全体の91.7%となっている中で、冬季スポーツの“基礎スキー”が27.3%と最も多く、次いで、“書道”、“野球”が22.7%の割合となっています。

II.調査の結果

2.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)の保護者アンケート

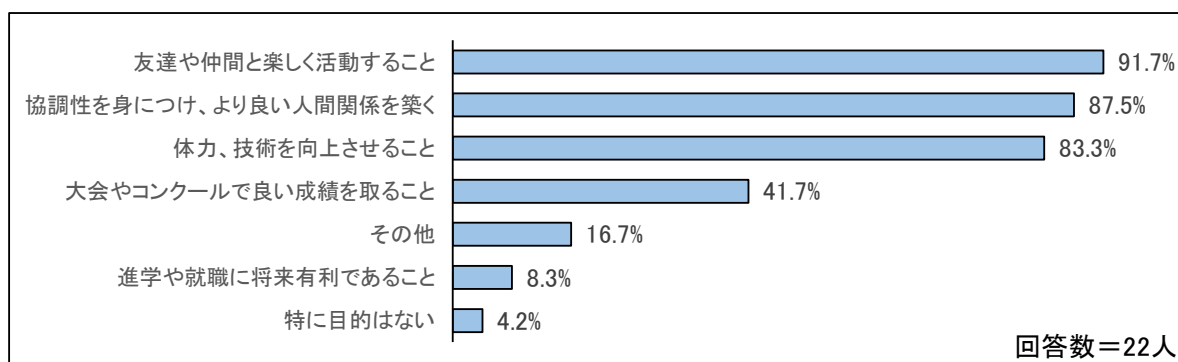
問3 活動にかかる月々の費用はどのくらいですか。

※問1で「所属している」と回答した人



問4 お子様が進学した際に、部活動に参加することで何を期待しますか。

※複数回答可



◆“友達や仲間と楽しく活動”91.7%

部活動に参加することでの保護者の期待する点として、“友達や仲間と楽しく活動する”が91.7%と最も多く、次いで、“協調性を身につけ、より良い人間関係を築く”87.5%、“体力・技術の向上”83.3%となっています。

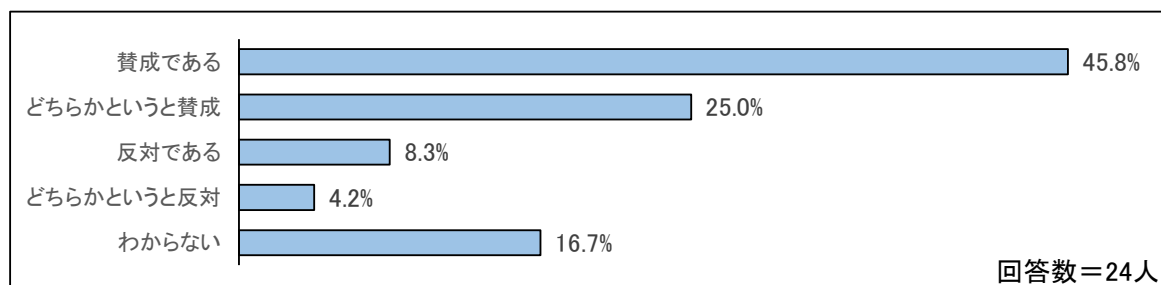
その他を選んだ方の記述回答は4件あり、その内容は次のとおりです。

- ・思い出、経験づくり(1件)
- ・特技として身につけること(1件)
- ・継続力や努力することを身につける(2件)

II.調査の結果

2.部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)の保護者アンケート

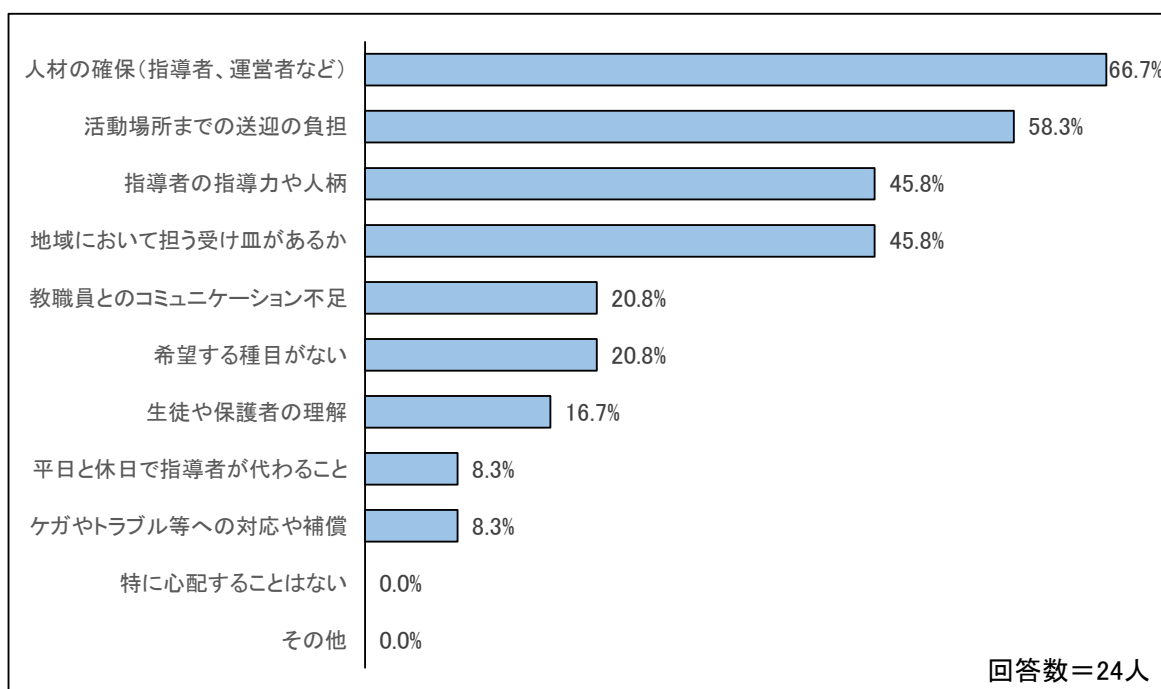
問5 休日(土・日)の学校部活動の地域移行について賛成ですか。



◆“賛成”、“どちらかという賛成”70.8% “反対”、“どちらかという反対”12.5%

問6 部活動を地域クラブ等へ移行することで、心配することは何ですか。

※複数回答可



※内訳は10P参照

II. 調査の結果

2. 部活動の地域移行に関する児童(小学4～6年生)の保護者アンケート

対象者	回答者数	“賛成・どちらかという賛成”と回答した保護者					
保護者	17	人材の確保	送迎の負担	指導力や人柄	受け皿問題	教員との交流不足	希望種目がない
		64.7%	52.9%	35.3%	47.1%	17.6%	23.5%
		生徒・保護者の理解	指導者が代わること	ケガやトラブル	心配事はない	その他	
		5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	
対象者	回答者数	“反対・どちらかという反対”と回答した保護者					
保護者	3	人材の確保	送迎の負担	指導力や人柄	受け皿問題	教員との交流不足	希望種目がない
		100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%
		生徒・保護者の理解	指導者が代わること	ケガやトラブル	心配事はない	その他	
		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
対象者	回答者数	“分からない”と回答した保護者					
保護者	4	人材の確保	送迎の負担	指導力や人柄	受け皿問題	教員との交流不足	希望種目がない
		50.0%	50.0%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%
		生徒・保護者の理解	指導者が代わること	ケガやトラブル	心配事はない	その他	
		50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

◆“人材の確保(指導者、運営者など)”66.7%

地域移行することで、保護者の心配な点として、“人材の確保(指導者、運営者)”が66.7%と最も多く、次いで、“活動場所までの送迎の負担”が58.3%となっています。

回答別にみても、地域移行に賛成、反対関わらず、心配な点としては“人材の確保(指導者、運営者など)”、“活動場所までの送迎の負担”、“指導者の指導力や人柄”、“受け皿問題”に対して割合が多くなっています。

問7 部活動地域移行に関しての課題や問題点、ご意見などがありましたら、記載してください。

※自由記述

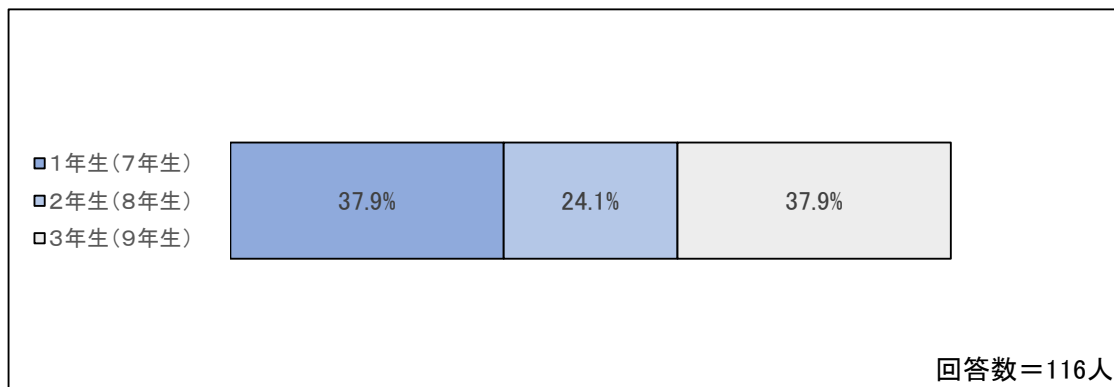
- ・送迎の負担が増え、今以上に部活動加入者が減少する。
- ・合同部活動の実施が望ましい。
- ・指導者との関係性、大会や遠征の金銭面。
- ・地域に受け皿がないため、競技を行う機会がなくなると不安。
- ・学校部活動の種目が制限されているため、芸術活動クラブなどを増やしてほしい。
- ・先生が変わると生徒も戸惑うため、同じ先生に学びたい。
- ・指導者同士の意思疎通が必要。
- ・指導者の大会等での移動にかかる交通費や宿泊費の負担は誰がするのか。

II.調査の結果

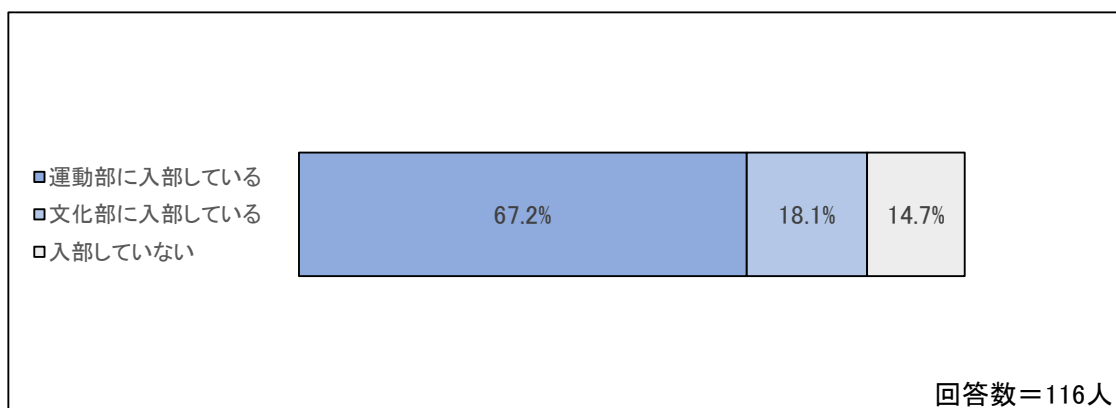
3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問1 学年を選んでください。



問2 学校の部活動に入部していますか。



学年	回答者数	運動部	文化部	入部していない
1年生(7年生)	44	65.9%	15.9%	18.2%
2年生(8年生)	28	57.1%	21.4%	21.4%
3年生(9年生)	44	75.0%	18.2%	6.8%
合計	116	67.2%	18.1%	14.7%

◆“運動部”67.2% “文化部”18.1%

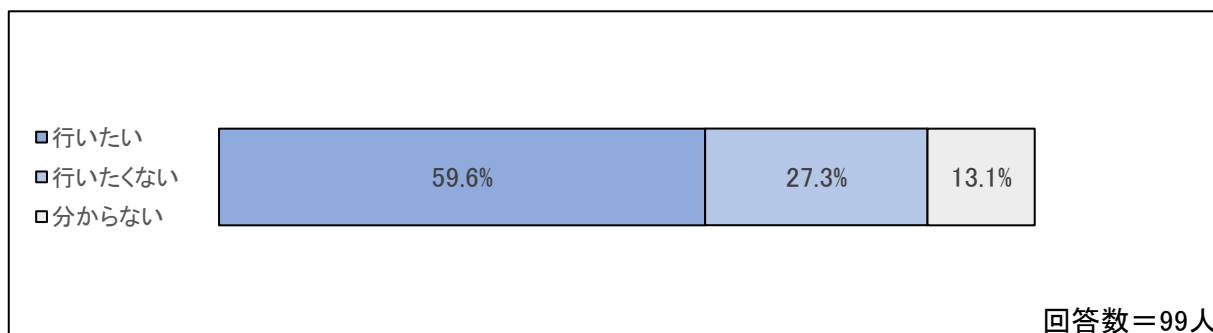
学校部活動の入部状況を見ると、“運動部”が67.2%、“文化部”が18.1%で、“入部していない人”は14.7%の割合となっており、8割以上は部活動に入部しています。

II.調査の結果

3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問3 休日(土・日)に部活動を行いたいですか。

※問2で「運動部または文化部に入部している」と回答した人



学年	回答者数	行いたい	行いたくない	分からない
1年生(7年生)	36	47.2%	36.1%	16.7%
2年生(8年生)	22	54.5%	40.9%	4.5%
3年生(9年生)	41	73.2%	12.2%	14.6%
合計	99	59.6%	27.3%	13.1%

◆**“行いたい”59.6% “行いたくない”27.3%**

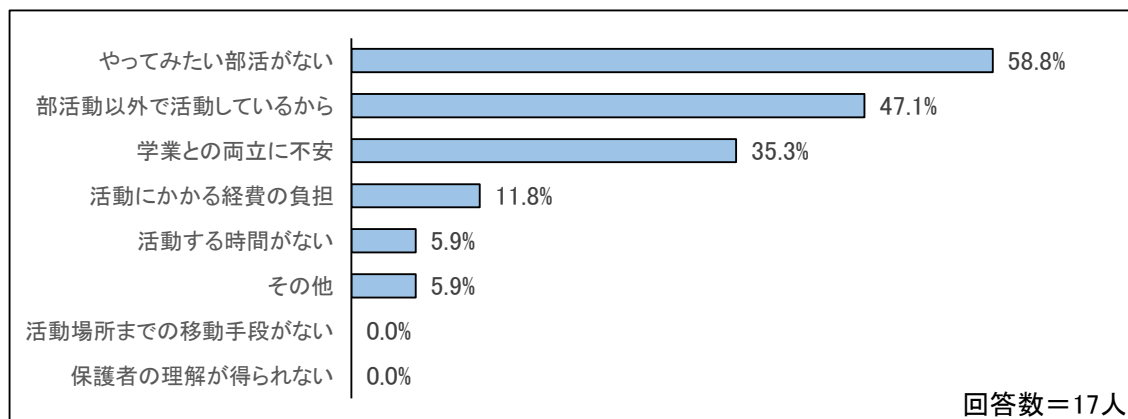
現在、学校部活動に入部している人のうち、休日(土・日)も部活動を“行いたい”と回答した人は59.6%で、“行いたくない”と回答した人は27.3%となっており、“分からない”と回答した人は全体の1割程度となっています。

II.調査の結果

3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問4 部活動に入部していない理由は何ですか。

※問2で「入部していない」と回答した人 ※複数回答可



◆“やってみたい部活がない”58.8%

現在、部活動に入部していない人のうち、“やってみたい部活がない”が58.8%と最も多く、次いで、“部活動以外で活動している”の47.1%となっています。
また、学年別にみると、学年が上がるにつれて、“学業との両立”が高い割合となっています。

対象者	回答者数	“入部していない”と回答した生徒			
		やりたい部活がない	部活動以外で活動	学業との両立	経費の負担
1年生 (7年生)	8	62.5%	87.5%	25.0%	0.0%
		活動する時間がない	その他	移動手段がない	保護者の理解
2年生 (8年生)	6	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		66.7%	16.7%	33.3%	33.3%
3年生 (9年生)	3	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
		33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

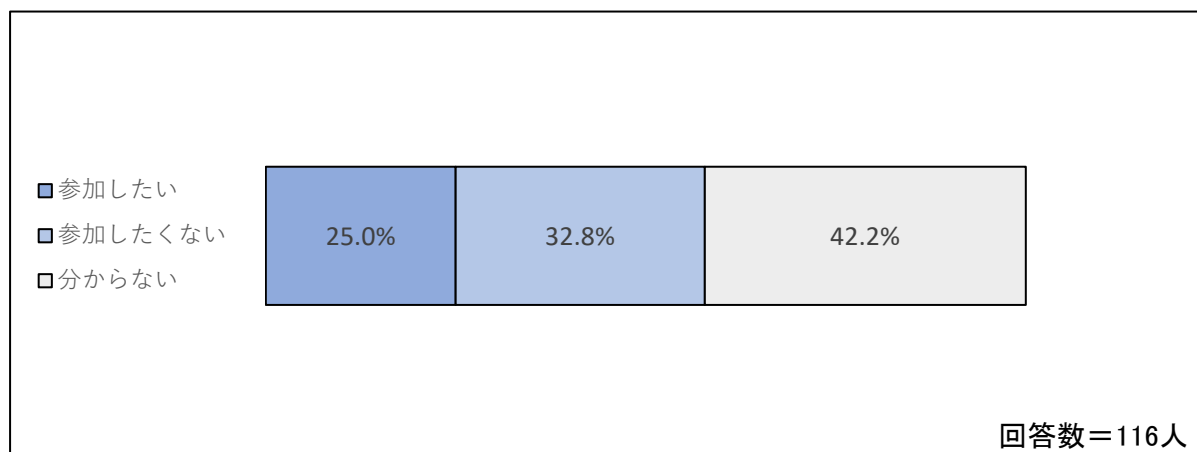
その他を選んだ方の記述回答は1件あり、その内容は次のとおりです。

- ・入部していた部活動(陸上部)がなくなったから(1件)

II.調査の結果

3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問5 学校部活動にない種目に参加してみたいですか。



学年	回答者数	参加したい	参加したくない	分からない
1年生(7年生)	44	27.3%	34.1%	38.6%
2年生(8年生)	28	32.1%	39.3%	28.6%
3年生(9年生)	44	18.2%	27.3%	54.5%
合計	116	25.0%	32.8%	42.2%

◆“分からない”42.2%

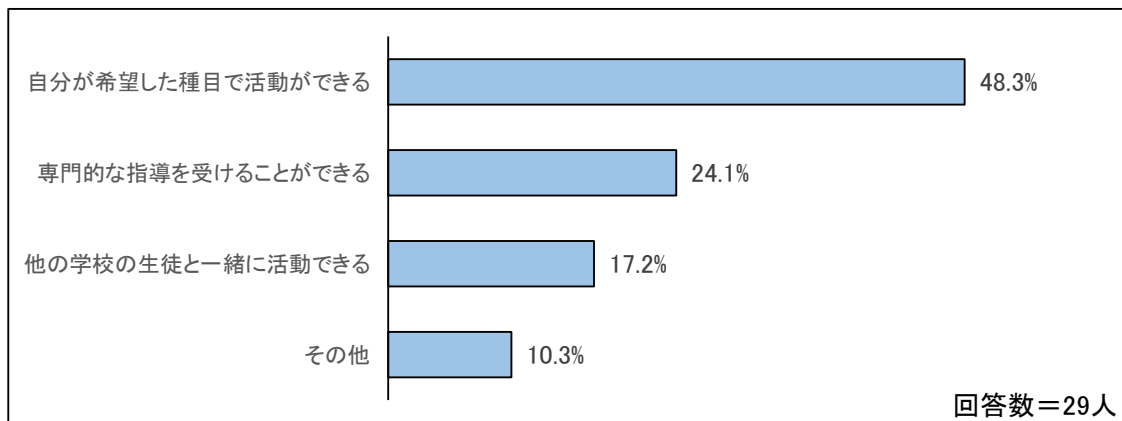
学校部活動にない種目に参加したいかについて“分からない”と回答した人が42.2%と最も多く、“参加したくない”は32.8%の割合となっています。その一方で、“参加したい”と回答した人は全体の2割程度となっています。

Ⅱ.調査の結果

3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問6 参加したい理由は何ですか。

※問5で「参加したい」と回答した人



◆ “希望した種目で活動できる”48.3%

問5で“参加したい”と回答した25%の人のうち、参加したい理由としては、“希望した種目で活動できる”が48.3%と最も多く、次いで、“専門的な指導を受けられる”が24.1%の割合となっています。

対象者	回答者数	“学校部活動にない種目に参加したい”回答した生徒			
		希望した種目ができる	専門的な指導を受けられる	他校の生徒と活動できる	その他
1年生 (7年生)	12	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
2年生 (8年生)	9	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%
3年生 (9年生)	8	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%

その他を選んだ方の記述回答は3件あり、その内容は次のとおりです。

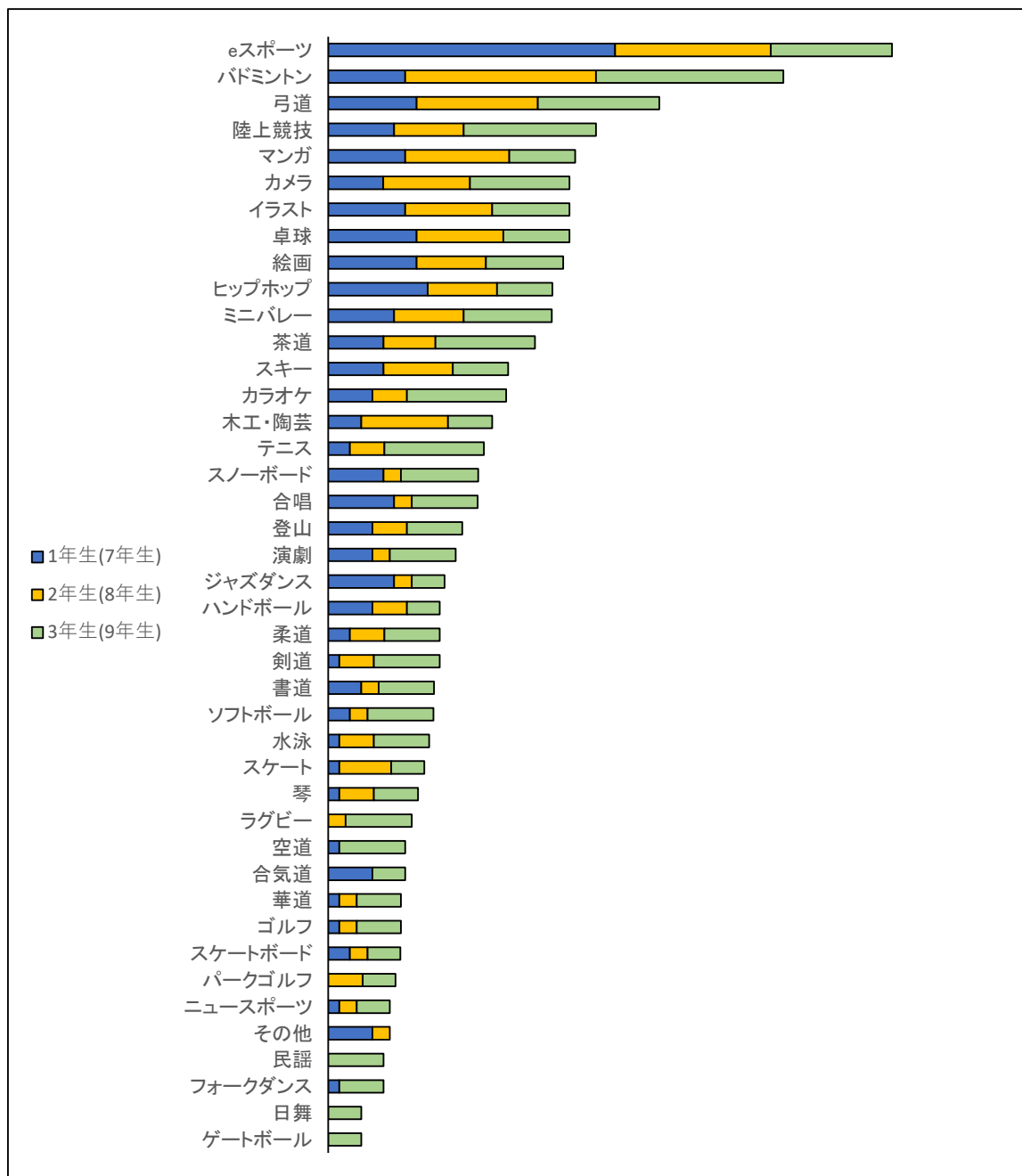
- ・色々なスポーツができるから(2件)
- ・自分の好きなスポーツをすることでやる気になり、健康増進に繋がるから(1件)

II.調査の結果

3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問7 現在ある部活動の他にあったら良いと思う部活動はありますか。

※複数回答可



◆ **スポーツ系では“eスポーツ” 文化系では“マンガ”が上位**

現在の部活動以外にあったら良い部活動は、スポーツ系では、“eスポーツ”、“バドミントン”、“弓道”が上位を占めており、文化系では“マンガ”、“カメラ”、“イラスト”となっています。

その他を選んだ方の記述回答は5件あり、その内容は次のとおりです。

- ・サッカー(3件)
- ・軽音(1件)
- ・ゲーム(1件)

Ⅱ.調査の結果

3.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)アンケート

問8 部活動についてご意見などがあれば、自由に記載してください。

※自由記述

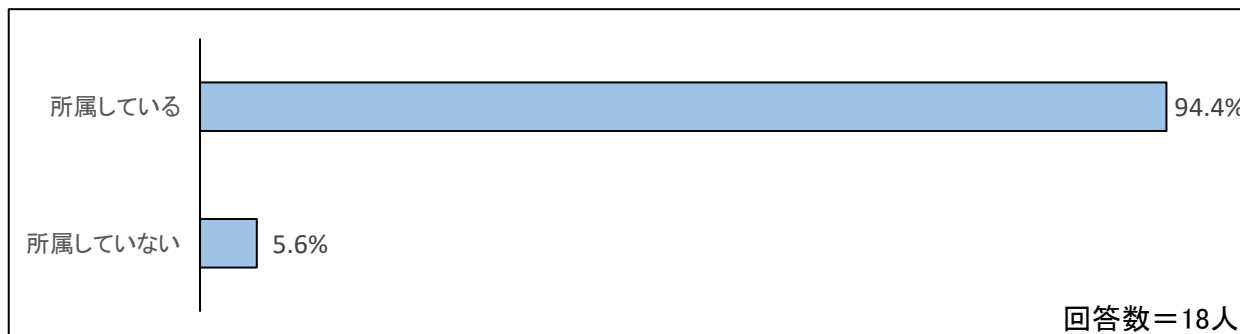
- ・eスポーツ部を新設してほしい。
- ・種目が多くあっても、一種目何人程度集まるのか。
- ・朝練を許可してほしい。
- ・学校の体育館が暑い。
- ・土日どちらも活動したい。
- ・指導者の大会等での移動にかかる交通費や宿泊費の負担は誰がするのか。
- ・吹奏楽部は夏場が演奏会などで忙しいため、二部練を行いたい。
- ・初めは続けられるか不安だったか、今は部活動が楽しい。

Ⅱ.調査の結果

4.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)の保護者アンケート

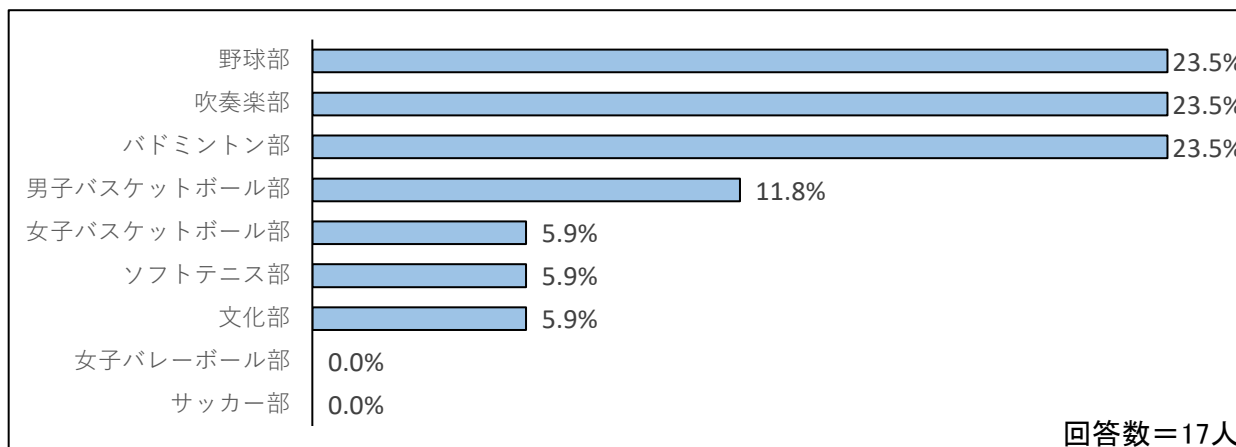
4.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)保護者アンケート

問1 お子様は、学校部活動に所属していますか。



問2 お子様が所属している部活動の種目を教えてください。

※問1で「所属している」と回答した人

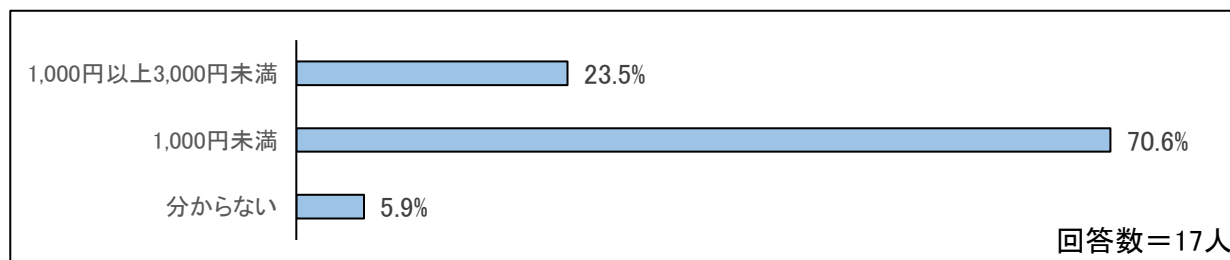


対象者	回答者数	野球	吹奏楽	バドミントン	男子バスケット
保護者	17	4	4	4	2
女子バスケット	ソフトテニス	文化	女子バレーボール	サッカー	/
1	1	1	0	0	

◆“野球部” “吹奏楽部” “バドミントン部”が23.5%

問3 部活動に関わる月々の費用はどのくらいですか。

※問1で「所属している」と回答した人

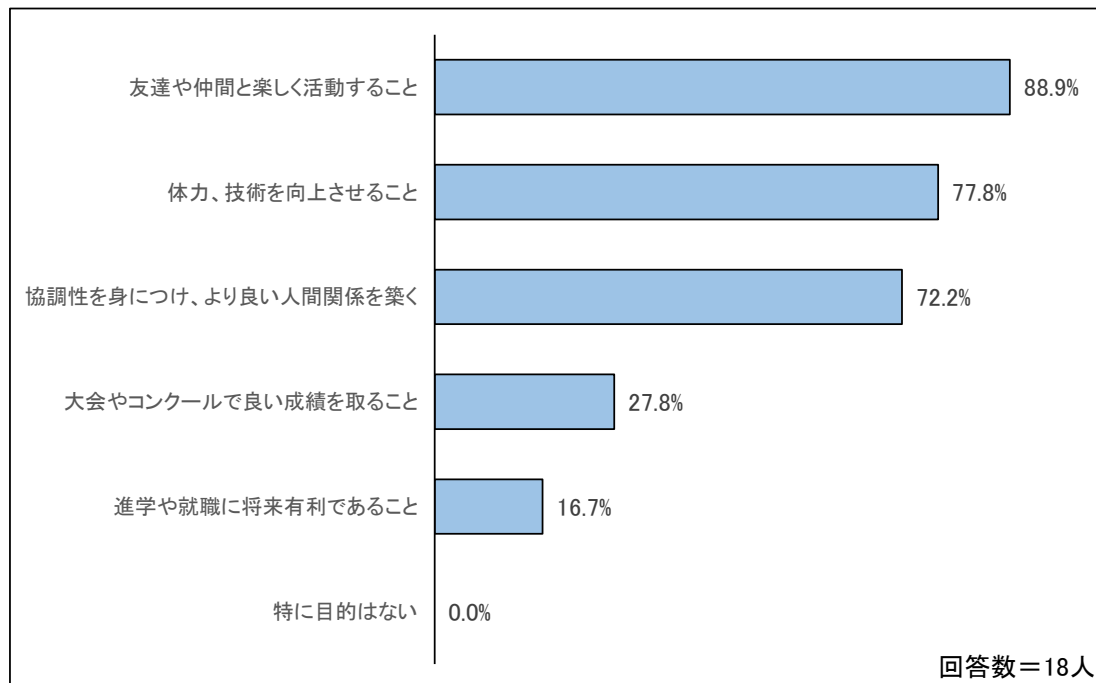


II.調査の結果

4.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)の保護者アンケート

問4 お子様が、部活動に参加することで何を期待しますか。

※複数回答可



◆“友達や仲間と楽しく活動”88.9%

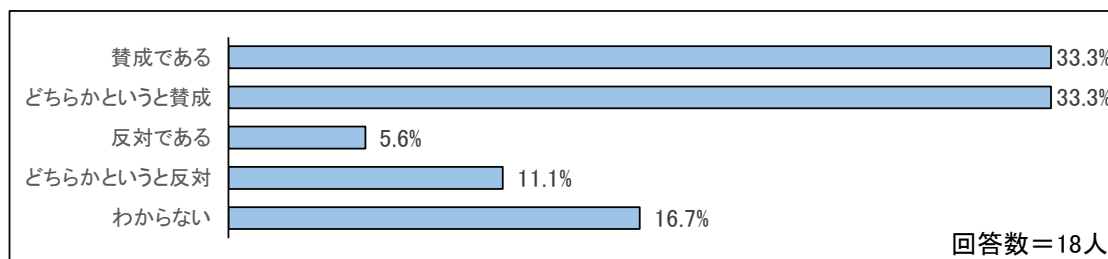
部活動に参加することでの保護者の期待する点として、“友達や仲間と楽しく活動する”が88.9%と最も多く、次いで、“体力、技術の向上”77.8%、“協調性を身につける”72.2%となっています。

回答別にみても、地域移行に賛成、反対関わらず、同じ項目が多い割合となっています。

II.調査の結果

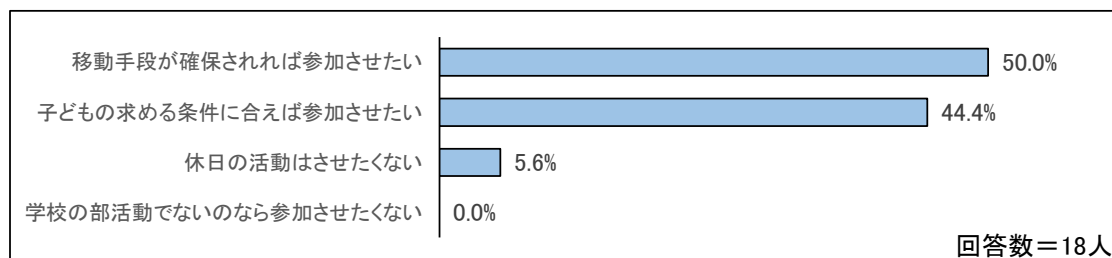
4.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)の保護者アンケート

問5 休日(土・日)の学校部活動の地域移行について賛成ですか。



◆“賛成”、“どちらかという賛成”66.6% “反対”、“どちらかという反対”16.7%

問6 学校部活動から地域へ移行した場合、お子様をスポーツ活動または文化活動に参加させたいですか。



対象者	回答者数	“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した保護者	
保護者	12	移動手段の確保されれば参加させたい	子どもの求める条件に合えば参加させたい
		50.0%	41.7%
		学校部活動でないなら参加させたくない	学校の部活動でないなら参加させたくない
		8.3%	0.0%
対象者	回答者数	“反対”・“どちらかという反対”と回答した保護者	
保護者	3	移動手段の確保されれば参加させたい	子どもの求める条件に合えば参加させたい
		33.3%	66.7%
		学校部活動でないなら参加させたくない	学校の部活動でないなら参加させたくない
		0.0%	0.0%
対象者	回答者数	“分からない”と回答した保護者	
保護者	3	移動手段の確保されれば参加させたい	子どもの求める条件に合えば参加させたい
		66.7%	33.3%
		学校部活動でないなら参加させたくない	学校の部活動でないなら参加させたくない
		0.0%	0.0%

◆“移動手段が確保されれば参加させたい”50%

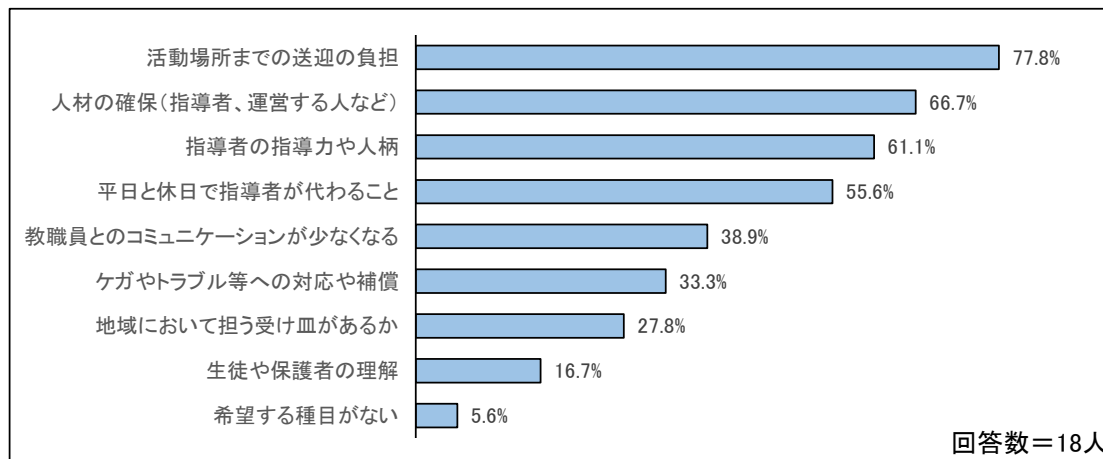
学校部活動が地域へ移行した場合“移動手段が確保されれば参加させたい”が50%と最も多く、次いで、“子どもの求める条件に合えば参加させたい”の44.4%となっています。
 回答別にみると、地域移行に“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した人は“移動手段の確保”の50%が最も多く、地域移行に“反対”・“どちらかという反対”と回答した人は、“子どもの求める条件”の66.7%が最も多い割合となっています。

II 調査の結果

4.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)の保護者アンケート

問7 部活動を地域クラブ等へ移行することで、心配することは何ですか。

※複数回答可



対象者	回答者数	“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した保護者				
保護者	12	活動場所への送迎	人材の確保	指導力や人柄	指導者が変わる	教員との交流不足
		83.3%	66.7%	50.0%	33.3%	25.0%
保護者	3	ケガやトラブル	受け皿問題	生徒・保護者の理解	希望種目がない	
		25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	
対象者	回答者数	“反対”・“どちらかという反対”と回答した保護者				
保護者	3	活動場所への送迎	人材の確保	指導力や人柄	指導者が変わる	教員との交流不足
		33.3%	66.7%	66.7%	100.0%	66.7%
保護者	3	ケガやトラブル	受け皿問題	生徒・保護者の理解	希望種目がない	
		66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	
対象者	回答者数	“分からない”と回答した保護者				
保護者	3	活動場所への送迎	人材の確保	指導力や人柄	指導者が変わる	教員との交流不足
		100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%
保護者	3	ケガやトラブル	受け皿問題	生徒・保護者の理解	教員との交流不足	
		33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	

◆“活動場所までの送迎の負担”77.8%

地域移行することで、保護者の心配な点として、“活動場所までの送迎の負担”が77.8%と最も多く、次いで、“人材の確保(指導者、運営する人など)”が66.7%となっています。

回答別にみると、地域移行に“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した人は“活動場所までの送迎の負担”が最も多く、地域移行に“反対”・“どちらかという反対”と回答した人は、“平日と休日で指導者が変わること”が最も多い割合となっています。

II.調査の結果

4.部活動の地域移行に関する生徒(中学1～3年生)の保護者アンケート

問8 部活動地域移行についての課題や問題点、ご意見などがありましたら、記載してください。

※自由記述

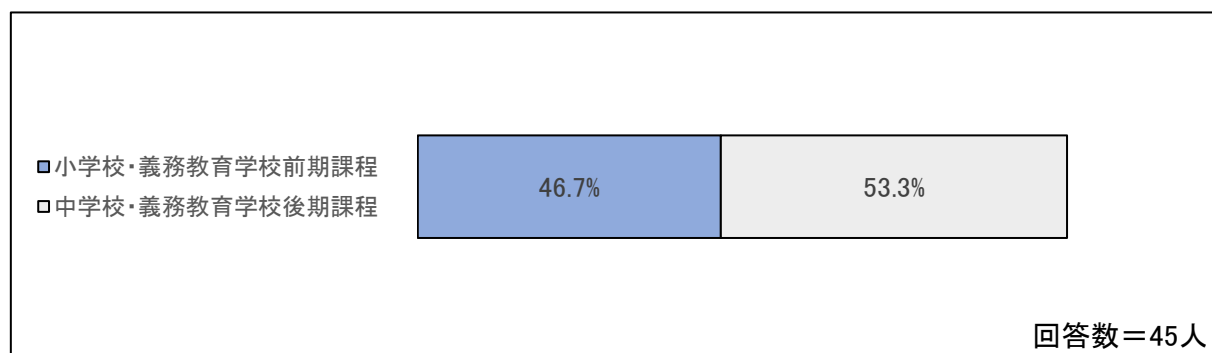
- ・ 他校の生徒との交流などで刺激を受け、専門的な指導者からの指導を受けられるのは良い。
- ・ 指導者が複数になるので、指導者同士の連携が上手くとれるのか。
- ・ 指導者が平日は教員、土日は外部指導者となると、教え方も違って教わる生徒は戸惑う。
- ・ 大会は土日にあるため教員でないと生徒も普段通りのプレーが出来なくなる。
- ・ 共働き世帯が多いため、送迎ができなく土日参加が難しい生徒もいる。
- ・ 指導者資格の保有が必要ではないか。
- ・ 学校から無料バス移動など、考えてほしい。生徒は路線バスを使用しているので、路線バスで移動となると金銭負担も増額したら部活を続けるのが難しい家庭も出てくる。

Ⅱ.調査の結果

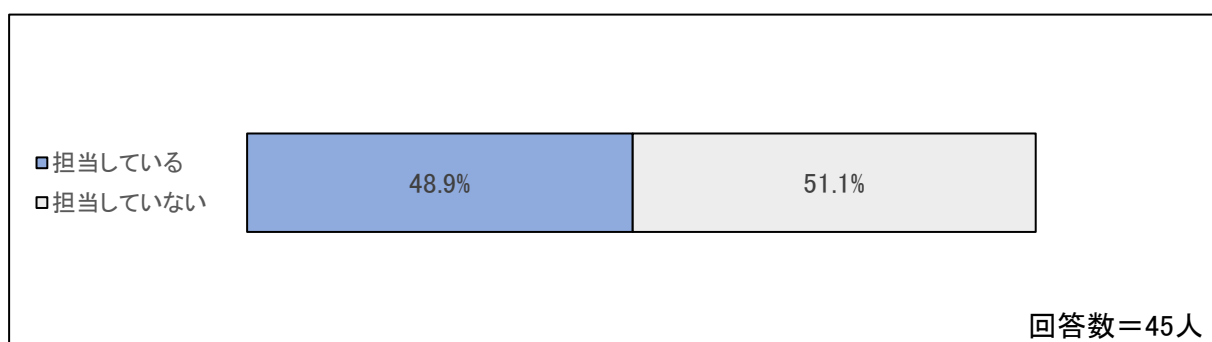
5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

問1 所属する学校を教えてください。



問2 部活動を担当(顧問)していますか。



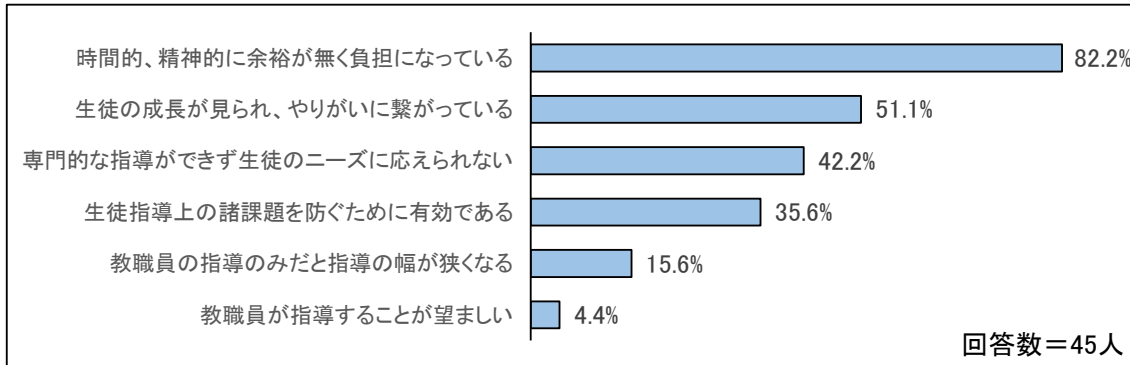
所属	回答者数	担当している	担当していない
小学校・義務教育学校前期課程	21	2	19
中学校・義務教育学校後期課程	24	20	4
合計	45	22	23

II.調査の結果

5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

問3 教職員が部活動を行うことについてどう考えるか。

※複数回答可



対象者	回答者数	担当（顧問）していると回答した人		
小学校・義務教育学校前期課程	2	時間的・精神的負担	教職員のやりがい	ニーズに応えられない
		100.0%	100.0%	0.0%
		生徒指導上の課題を防ぐために有効	指導の幅が狭くなる	教職員の指導が望ましい
		50.0%	50.0%	50.0%
対象者	回答者数	担当（顧問）していると回答した人		
中学校・義務教育学校後期課程	20	時間的・精神的負担	教職員のやりがい	ニーズに応えられない
		75.0%	60.0%	50.0%
		生徒指導上の課題を防ぐために有効	指導の幅が狭くなる	教職員の指導が望ましい
		30.0%	20.0%	5.0%

対象者	回答者数	担当（顧問）していないと回答した人		
小学校・義務教育学校前期課程	19	時間的・精神的負担	教職員のやりがい	ニーズに応えられない
		89.5%	26.3%	31.6%
		生徒指導上の課題を防ぐために有効	指導の幅が狭くなる	教職員の指導が望ましい
		31.6%	5.3%	0.0%
対象者	回答者数	担当（顧問）していないと回答した人		
中学校・義務教育学校後期課程	4	時間的・精神的負担	教職員のやりがい	ニーズに応えられない
		75.0%	100.0%	75.0%
		生徒指導上の課題を防ぐために有効	指導の幅が狭くなる	教職員の指導が望ましい
		75.0%	25.0%	0.0%

◆“時間的・精神的に余裕がない”82.2%、“やりがいに繋がる”51.1%

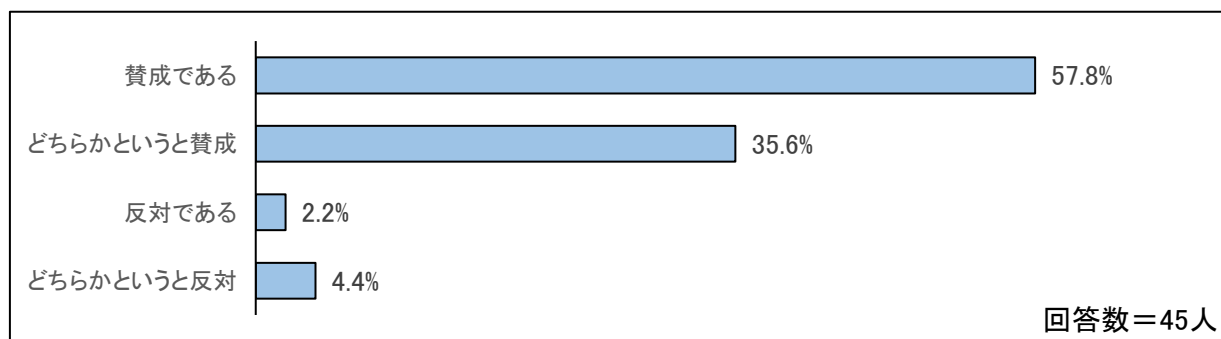
教職員の部活動への参加は“時間的・精神的に余裕がなく負担になっている”が82.2%と最も多い一方で、“生徒の成長が見られ、やりがいに繋がる”が51.1%となっています。

現在、部活動を担当している人の回答をみても、負担を感じる教職員もいる中で、やりがいを感じている教職員も5割程度の割合となっています。

Ⅱ.調査の結果

5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

問4 休日(土・日)の学校部活動について賛成ですか。

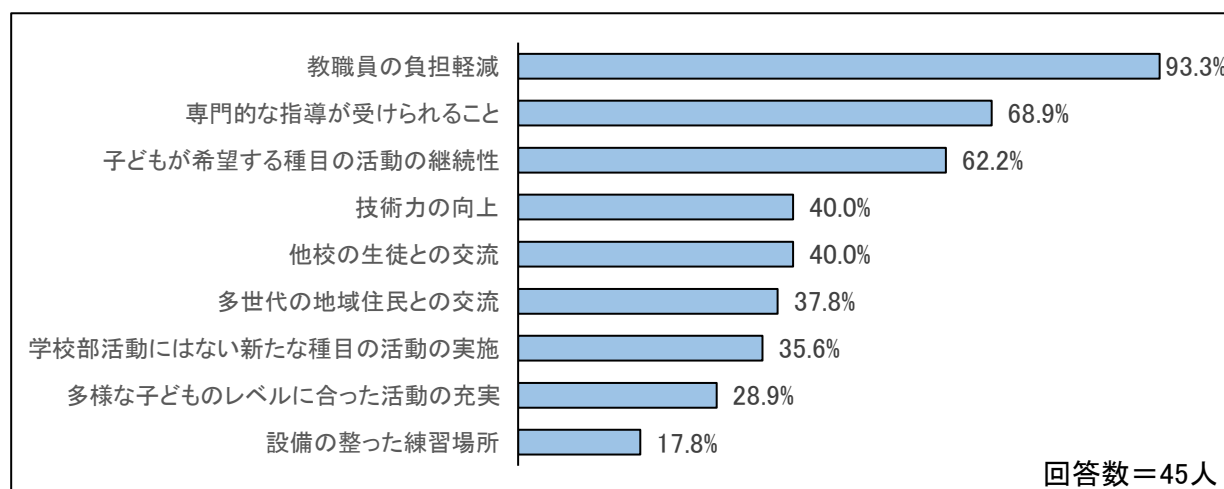


所属	回答者数	賛成	どちらかという賛成	反対	どちらかという反対
小学校・義務教育学校前期課程	21	11	8	1	1
中学校・義務教育学校後期課程	24	15	8	1	0
合計	45	26	16	2	1

◆**“賛成”、“どちらかという賛成”93.4% “反対”、“どちらかという反対”6.6%**

問5 部活動を地域のクラブ等へ移行することで、何を期待しますか。

※複数回答可



◆**“教職員の負担軽減”93.3%**

学校部活動を地域のクラブへ移行することで、教職員の期待する点として、“教職員の負担軽減”が93.3%と最も多く、次いで、“専門的な指導が受けられること”68.9%となっています。

※内訳は26P参照

II. 調査の結果

5. 部活動の地域移行に関する教職員アンケート

対象者	回答者数	“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した人		
小学校・義務教育学校前期課程	19	教職員の負担軽減	専門的な指導が受けられる	種目の活動の継続性
		94.7%	73.7%	68.4%
		技術力の向上	他校の生徒との交流	地域住民との交流
42.1%	42.1%	31.6%		
新たな種目の実施	子どものレベルに合った活動の充実	練習場所の充実		
42.1%	15.8%	15.8%		
対象者	回答者数	“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した人		
中学校・義務教育学校後期課程	23	教職員の負担軽減	専門的な指導が受けられる	種目の活動の継続性
		95.7%	60.9%	65.2%
		技術力の向上	他校の生徒との交流	地域住民との交流
39.1%	39.1%	39.1%		
新たな種目の実施	子どものレベルに合った活動の充実	練習場所の充実		
34.8%	43.5%	21.7%		

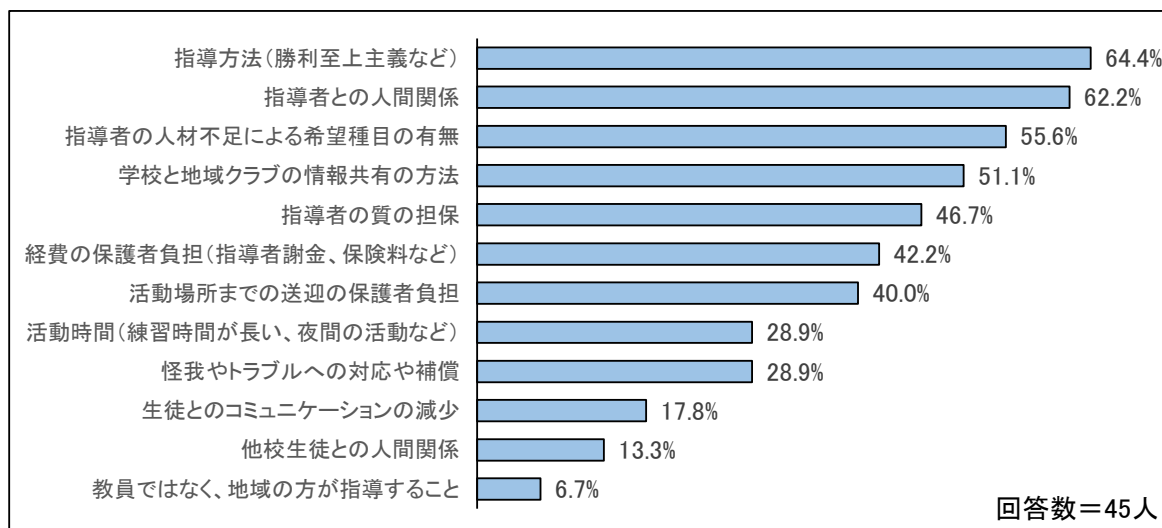
対象者	回答者数	“反対”・“どちらかという反対”と回答した人		
小学校・義務教育学校前期課程	2	教職員の負担軽減	専門的な指導が受けられる	種目の活動の継続性
		100.0%	50.0%	0.0%
		技術力の向上	他校の生徒との交流	地域住民との交流
50.0%	0.0%	0.0%		
新たな種目の実施	子どものレベルに合った活動の充実	練習場所の充実		
50.0%	50.0%	0.0%		
対象者	回答者数	“反対”・“どちらかという反対”と回答した人		
中学校・義務教育学校後期課程	1	教職員の負担軽減	専門的な指導が受けられる	種目の活動の継続性
		0.0%	100.0%	0.0%
		技術力の向上	他校の生徒との交流	地域住民との交流
0.0%	0.0%	100.0%		
新たな種目の実施	子どものレベルに合った活動の充実	練習場所の充実		
0.0%	0.0%	0.0%		

II.調査の結果

5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

問6 学校部活動を地域クラブ等へ移行することで、心配することは何ですか。

※複数回答可



◆“指導方法(勝利至上主義など)”64.4%

地域移行することで、教職員の心配な点として、“指導方法(勝利至上主義など)”が64.4%と最も多く、次いで、“指導者との人間関係”が62.2%となっています。

回答別にみると、地域移行に“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した人は“指導方法”、“指導者との人間関係”が多い割合を占める中、“指導者の人材不足”や“学校と地域クラブの情報共有の方法”の割合も多くなっています。

対象者	回答者数	“賛成”・“どちらかという賛成”と回答した人		
		指導方法	指導者との人間関係	指導者の人材不足
小学校・義務教育学校前期課程	19	73.7%	63.2%	52.6%
		学校と地域クラブの情報共有の方法	指導者の質	経費の保護者負担
		57.9%	42.1%	42.1%
		活動場所までの送迎	活動時間	ケガやトラブル
		36.8%	36.8%	31.6%
生徒とのコミュニケーション	他校生徒との人間関係	地域の方の指導		
		5.3%	26.3%	10.5%
中学校・義務教育学校後期課程	23	60.9%	56.5%	60.9%
		学校と地域クラブの情報共有の方法	指導者の質	経費の保護者負担
		47.8%	43.5%	47.8%
		活動場所までの送迎	活動時間	ケガやトラブル
		47.8%	26.1%	26.1%
生徒とのコミュニケーション	他校の生徒との人間関係	地域の方の指導		
		21.7%	4.3%	0.0%

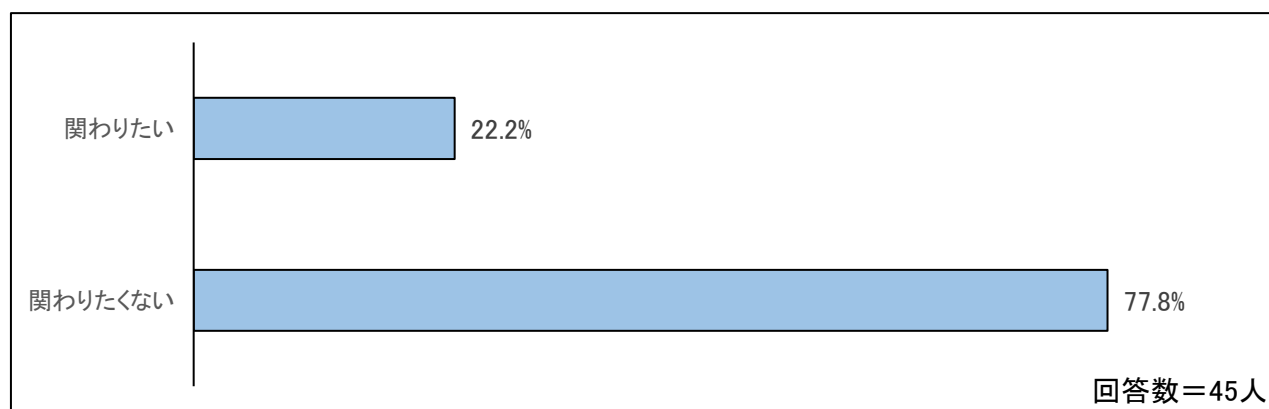
※“反対”・“どちらかという反対”の内訳は25P参照

II.調査の結果

5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

対象者	回答者数	“反対”・“どちらかという反対”と回答した人		
小学校・義務教育学校前期課程	2	指導方法	指導者との人間関係	指導者の人材不足
		0.0%	100.0%	50.0%
		学校と地域クラブの情報共有の方法	指導者の質	経費の保護者負担
		50.0%	50.0%	50.0%
		活動場所までの送迎	活動時間	ケガやトラブル
0.0%	0.0%	50.0%		
生徒とのコミュニケーション	他校生徒との人間関係	地域の方の指導		
0.0%	0.0%	0.0%		
中学校・義務教育学校後期課程	1	指導方法	指導者との人間関係	指導者の人材不足
		100.0%	100.0%	0.0%
		学校と地域クラブの情報共有の方法	指導者の質	経費の負担
		0.0%	100.0%	0.0%
		活動場所までの送迎	活動時間	ケガやトラブル
0.0%	0.0%	0.0%		
生徒とのコミュニケーション	他校の生徒との人間関係	地域の方の指導		
100.0%	0.0%	100.0%		

問7 学校部活動が地域へ移行した後、地域の指導者として関わりたいですか。



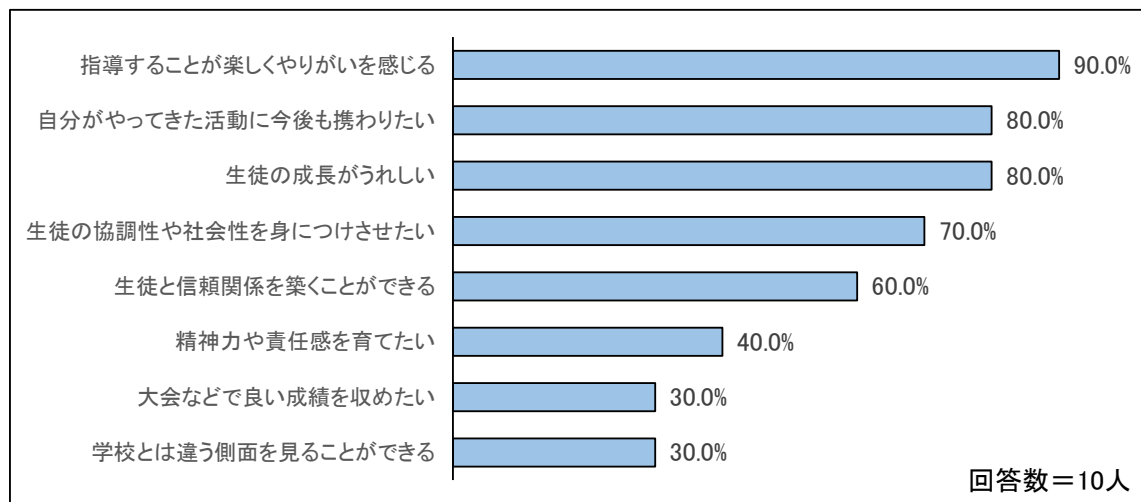
◆“関わりたい”22.2% “関わりたくない”77.8%

II.調査の結果

5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

問8 どのような理由で関わりたいと思いますか。

※問7で「関わりたい」と回答した人 ※複数回答可



◆“指導することが楽しくやりがいを感じる”90.0%

問7で“関わりたい”と回答した22.2%の人のうち、関わりたい理由としては、“指導することが楽しくやりがいを感じる”が90%と最も多く、次いで、“自分がやってきた活動に今後も携わりたい”と“生徒の成長が嬉しい”が80%の割合となっています。

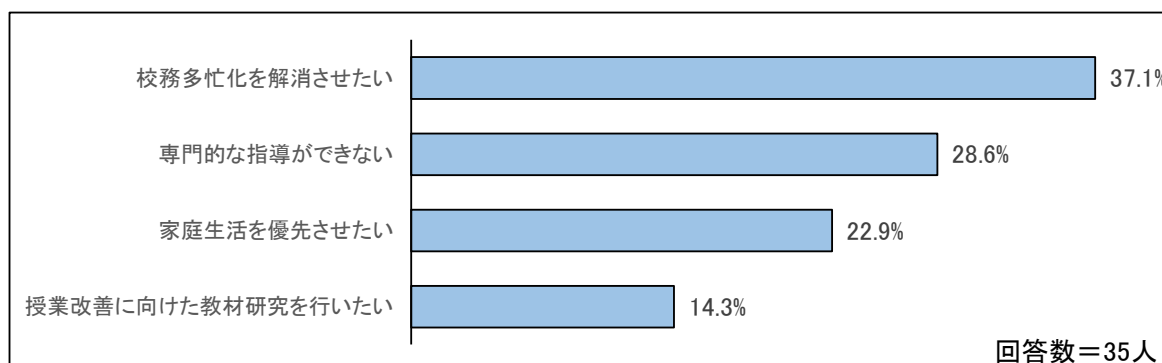
対象者	回答者数	“関わりたい”と回答した人		
		やりがいを感じる	今後も携わりたい	生徒の成長が嬉しい
小学校・義務教育学校前期課程	5	80.0%	60.0%	80.0%
		60.0%	60.0%	20.0%
		20.0%	60.0%	
中学校・義務教育学校後期課程	5	80.0%	100.0%	80.0%
		80.0%	60.0%	60.0%
		20.0%	0.0%	

II.調査の結果

5.部活動の地域移行に関する教職員アンケート

問9 どのような理由で関わりたくないと思いますか。

※問7で「関わりたくない」と回答した人 ※複数回答可



◆“校務多忙化を解消させたい”37.1%

問7で“関わりたくない”と回答した77.8%の人のうち、関わりたくない理由としては、“校務多忙化を解消させたい”が37.1%と最も多く、次いで、“専門的な指導ができない”が28.6%の割合となっています。

対象者	回答者数	“関わりたくない”と回答した人	
		公務多忙化を解消させたい	専門的な指導ができない
小学校・義務教育学校前期課程	16	50.0%	31.3%
		家庭生活を優先したい	授業改善に向けた教材研究を行いたい
中学校・義務教育学校後期課程	19	21.1%	26.3%
		家庭生活を優先したい	授業改善に向けた教材研究を行いたい
		26.3%	10.5%

問10 部活動地域移行に関しての課題や問題点、ご意見などがありましたら、記載してください。

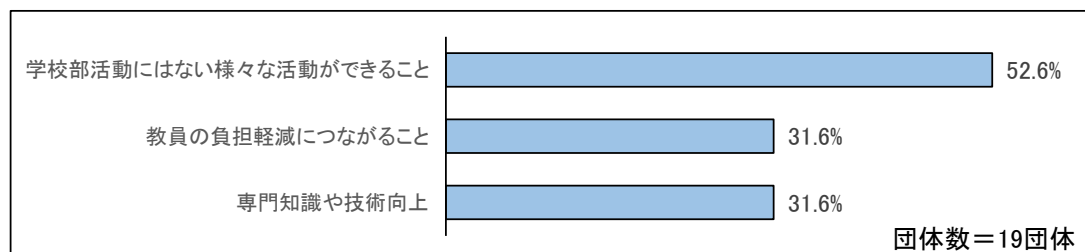
※自由記述

- ・教育従事者がやらないことで、教育的観点は失われるのではないか。
- ・部活動でのトラブルを学校に相談するなどの苦情対応。
- ・部活動は指導だけでなくお金の管理、大会の引率等も行わなければならない。また、生徒だけでなく保護者との人間関係も気を遣わなければならないが、それでも指導を希望する人がいるのか。
- ・中学生年代のスポーツなどを学校の先生だけで面倒を見ていくことは限界にきていると感じている。
- ・土日一部活動があるため、十分な休養が取れていない。
- ・学校、地域、町が同じ思いでできるのかが重要になる。
- ・生徒が減少している中で地域としてスポーツを活性化させるべき。
- ・スクールバス等で巡回したりできるようになると良いと思う。

6.部活動の地域移行に関するスポーツ・文化団体アンケート

問1 学校部活動を地域移行することによって何を期待しますか。

※複数回答可

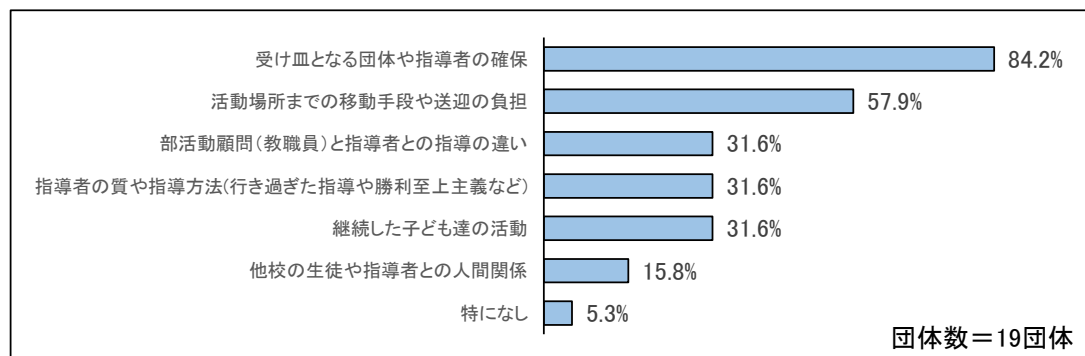


◆“学校部活動にはない活動ができる”52.6%

学校部活動を地域のクラブへ移行することで、スポーツ・文化団体の期待する点として、“学校部活動にはない活動ができる”が52.6%と最も多く、次いで、“教員の負担軽減につながる”、“専門知識や技術向上”が31.6%となっています。

問2 学校部活動を地域クラブ等へ移行することで、課題となることは何ですか。

※複数回答可



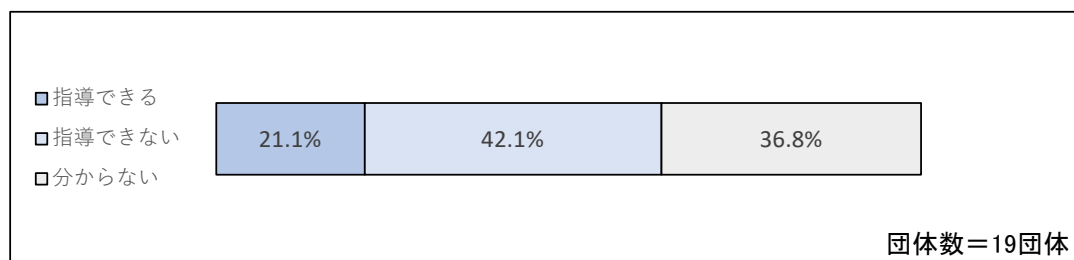
◆“受け皿となる団体や指導者の確保”84.2%

学校部活動を地域のクラブへ移行することでの課題として、“受け皿となる団体や指導者の確保”が84.2%と最も多く、次いで、“活動場所までの移動手段や送迎の負担”が57.9%となっています。

II.調査の結果

6.部活動の地域移行に関するスポーツ・文化団体アンケート

問3 休日(土・日)に生徒(中学生)へ指導することはできますか。

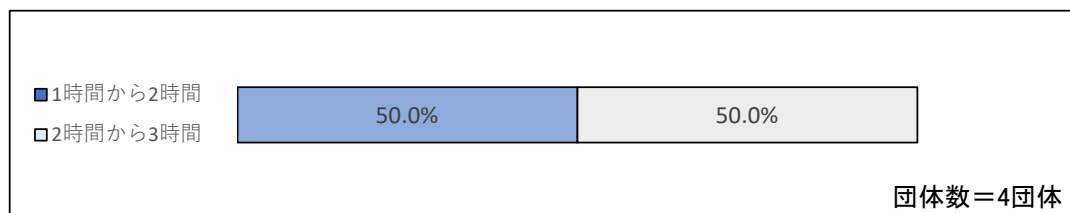


◆ “指導できる”21.1% “指導できない”42.1%

休日(土・日)の生徒(中学生)への指導について、“指導できる”が21.1%、“指導できない”が42.1%となっています。

問4 指導可能な時間を教えてください。

※問3で「指導できる」と回答した人

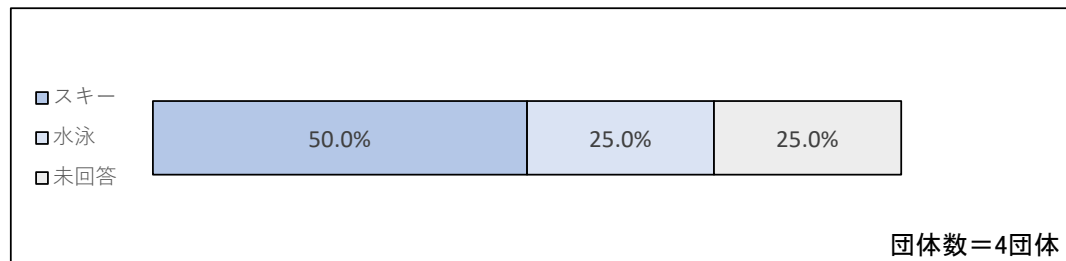


◆ “1～2時間” “2～3時間”50%

問3で“指導できる”と回答した21.1%の団体のうち、指導可能な時間は、“1～2時間”、“2～3時間”どちらも50%の割合となっています。

問5 指導できる種目等を教えてください。

※問3で「指導できる」と回答した人



◆ “スキー”50% “水泳”25%

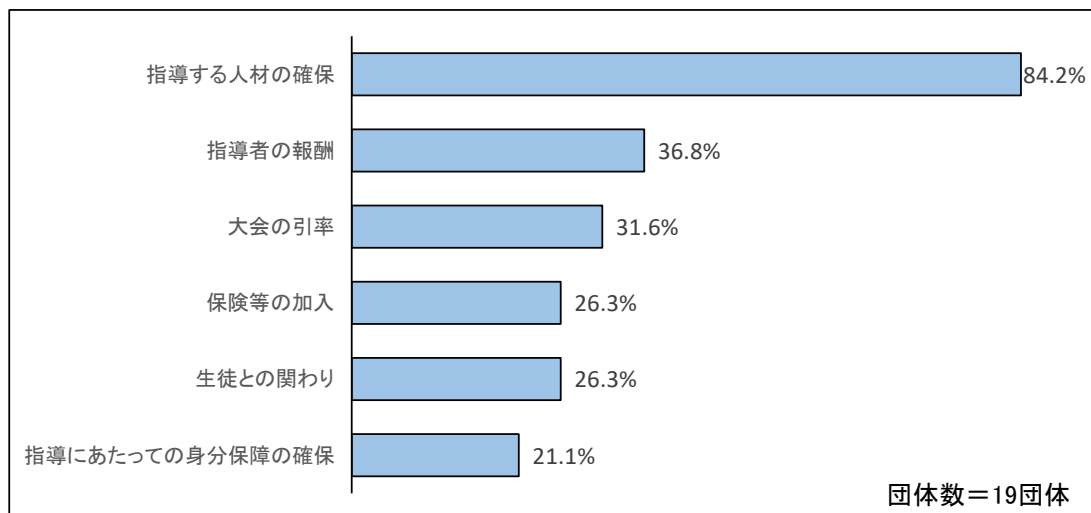
問3で“指導できる”と回答した21.1%の団体のうち、指導可能な種目は、“スキー”50%、“水泳”25%の割合となっています。

II.調査の結果

6.部活動の地域移行に関するスポーツ・文化団体アンケート

問6 指導するにあたっての課題や懸念点は何ですか。

※複数回答可



◆“指導する人材の確保”84.2%

指導にあたる際の懸念点として、“指導する人材の確保”が84.2%と最も多く、次いで、“指導者の報酬”36.8%の割合となっています。

問7 部活動の地域移行に関しての課題や問題点、ご意見などがありましたら、記載してください。

※自由記述

- ・ボランティアには限界があるため、報酬等を検討するべき。
- ・趣味で活動している団体であり、指導の経験がないため育成、スキルアップが必須。
- ・地域移行後、教職員にかかる経費などはいくら位負担するのか。

II. 調査の結果

7.まとめ

1. 児童(小学4～6年生)によるアンケート結果について

- ・73.9%の児童が部活動に入部したいと回答しており、進学後の部活動への関心の高さがうかがえる。
また、24.6%の児童が部活動の入部について悩んでいる現状がある。
- ・入部を希望している児童のうち、入部したい部活動は“野球部”が25.5%と最も多く、次いで、“バドミントン部”と“女子バレーボール部”が15.7%の順に多く、比較的団体競技を希望している児童が多い。

2. 児童(小学4～6年生)の保護者によるアンケート結果について

- ・70.8%の保護者が休日（土・日）の部活動の地域移行に賛成（どちらかというとは賛成含む）しており、反対（どちらかというとは反対）は12.5%いるものの、部活動の地域移行に賛成している保護者が多いことが推察される。
- ・部活動を地域クラブ等へ移行することで心配なことは、“人材の確保（指導者、運営者など）”が66.7%と最も多く、次いで、“活動場所までの送迎の負担”が58.3%となっており、人材の確保や活動場所までの送迎の負担についての問題意識が高い傾向にある。

3. 生徒(中学1～3年生)によるアンケート結果について

- ・85.3%の生徒が部活動に入部（運動部67.2%、文化部18.1%）している。
- ・入部している生徒のうち、休日（土・日）に部活動を“行いたい”と回答した人は59.6%おり、休日の部活動を望んでいる生徒が多い傾向にある。

4. 生徒(中学1～3年生)の保護者によるアンケート結果について

- ・66.6%の保護者が休日（土・日）の部活動の地域移行に賛成（どちらかというとは賛成含む）しており、反対（どちらかというとは反対）は16.7%いるものの、部活動の地域移行に賛成している保護者が多いことが推察される。
- ・休日（土・日）の部活動が地域へ移行した場合、94.4%の保護者が参加させたいと回答しており、そのうち、“移動手段が確保されれば参加させたい”が50.0%、“子どもの求める条件に合えば参加させたい”が44.4%といった条件で参加させたいと感じている傾向がある。
- ・部活動を地域クラブ等へ移行することで心配なことは、“活動場所までの送迎の負担”が77.8%と最も多く、次いで“人材の確保（指導者、運営する人など）”が66.7%となっており、活動場所までの送迎の負担や人材の確保についての問題意識が高い傾向にある。

II.調査の結果

7.まとめ

5. 教職員によるアンケート結果について

- ・93.4%の教職員が休日（土・日）の部活動の地域移行に賛成（どちらかという賛成含む）しており、反対（どちらかという反対）は6.6%しかおらず、休日（土・日）の部活動の地域移行に賛成と回答している教職員が多い。
- ・部活動を地域のクラブ等へ移行することで期待することは、“教職員の負担軽減”が93.3%と最も多く、次いで“専門的な指導が受けられること”が68.9%となっており、部活動が負担と感じている教職員が多い。
- ・部活動が地域のクラブ等へ移行した場合、22.2%が指導者として“関わりたい”と回答した一方で、77.8%が“関わりたくない”と回答しており、関わりたくない理由としては、“校務多忙化を解消させたい”が37.1%と最も多く、次いで“専門的な指導ができない”が28.6%となっており、部活動による校務多忙化や専門でない部活動の指導に対して負担を感じている。

6. スポーツ・文化団体によるアンケート結果について

- ・休日（土・日）に“指導できる”と回答した団体は21.1%にとどまり、“指導できない”と回答した団体は42.1%、“分からない”と回答した団体は36.8%となっており、部活動の地域移行にあたり指導者の確保が課題となっている。
- ・“指導できる”と回答した4団体（21.1%）のうち、指導可能な種目は“スキー”が50%、“水泳”が25%となっている。
- ・指導するにあたって課題と感じていることは、“指導する人材の確保”が84.2%と最も多く、次いで“指導者の報酬”が36.8%となっており、指導者の確保や報酬について課題と感じている傾向がある。

7. アンケート調査全体を通して

- ・児童及び生徒ともに、部活動への関心は高く、部活動を通して、個人の育成や学校生活における充実度などに対して、重要な要素として位置付けられている。
- ・児童が進学後にどのような部活動に参加したいかについては、“野球部”、“バドミントン部”、“バレーボール部”など、比較的団体競技が多い。
- ・児童が進学後に部活動に入部したいかについては、約2割が“まだ分からない”と回答していることから、部活動の選択肢や活動内容に関する情報を早期に提供する必要がある。
- ・生徒の中には、部活動に入部することで、学業との両立に悩むケースもあることから、部活動が負担にならないような仕組みづくりや選択肢の多様化、活動時間の適正化などが課題である。
- ・保護者の約7割が部活動の地域移行に賛成（どちらかという賛成含む）しているものの、心配な点として、“指導者の人材の確保”と“活動場所までの送迎の負担”となっており、今後の課題としては、地域における指導者の人材発掘や移動手段の確保などの仕組みづくりが必要である。
- ・教職員の約9割が部活動の地域移行に賛成（どちらかという賛成含む）しているが、その背景には“負担軽減”や“専門的な指導の導入”を期待する回答が多くみられた。このことから、部活動を地域のクラブ等へ移行することで、部活動の質の向上や教職員の業務の効率化にも繋がることが期待される。
- ・スポーツ・文化団体において、特定の種目（スキー、水泳）しか指導できると回答した団体がないため、ほかの種目にも対応できる指導者の育成が必要である。